

# 中部国際空港二本目滑走路の 早期整備に関する要望書



平成22年11月

中部国際空港二本目滑走路建設促進期成同盟会

## 中部国際空港二本目滑走路の早期整備について

中部国際空港の事業推進につきまして、日ごろから格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

中部国際空港は、開港以来、成田国際空港、関西国際空港と並ぶ国際拠点空港として、我が国の航空輸送の発展の一翼を担っております。

この中部国際空港は、当地域における産業経済の基盤強化に重要な役割を担っているだけでなく、当地域の国際交流の拡大を通じて、我が国全体の活力の維持・向上に大きく貢献しています。

我が国が、現在の厳しい経済状況を脱し、今後更なる成長を目指していくためには、日本の成長エンジンである中部地域が、発展著しいアジアと一体となって活力を取り戻し、再び我が国経済を牽引していかなければなりません。このため、地域のグローバルな交流を支える中部国際空港に、二本目滑走路を早期に整備し、完全 24 時間化を実現することが不可欠であります。

併せて、地域と国内外とを直結する航空ネットワークの維持・充実も不可欠であることから、急務である航空需要の拡大のため、地元関係団体がエアポートセールスやインバウンド促進事業など様々な事業に取り組んでおります。また、「中部国際空港二本目滑走路建設促進期成同盟会」においても、中部国際空港の将来像に係る地域としての考え方を検討するなど、地域一丸となって積極的な取組を進めているところであります。

つきましては、中部国際空港二本目滑走路の早期整備に向けて、次の各項目について特別のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

- 1 来年夏頃の閣議決定に向けて審議の始まった、社会資本整備重点計画の見直しにおいて、「完全24時間化の実現」を位置づけること。
- 2 日本の成長戦略に不可欠な中部国際空港の完全24時間化実現に向け、二本目滑走路の早期整備に必要な調査を行うこと。
- 3 地域を挙げて取り組んでいる航空需要拡大に対し、国も全面的に支援すること。
- 4 空港利用者の利便性向上のため、アクセスの充実に取り組むこと。

平成22年11月

## 中部国際空港二本目滑走路建設促進期成同盟会

会 長	愛知県知事	神 田 真 秋
副会長	岐阜県知事	古 田 肇
副会長	三重県知事	野 呂 昭 彦
副会長	名古屋市長	河 村 たかし
副会長	名古屋商工会議所会頭	高 橋 治 朗
副会長	社団法人中部経済連合会会長	川 口 文 夫
参 与	中部国際空港株式会社代表取締役社長	川 上 博